

## 小豆島2日目は 雨から始まった

タップリと8時間の睡眠をとって  
気持ちよく目覚めた朝は、あろうこ  
とか雨だった。

40数年前、北海道の利尻島へ旅し  
たとき、台風がやってきてフェリー  
が欠航になった。一泊素泊まり70  
0円の雑魚寝民宿にどうにか泊ま  
れることになったが、なにしろ素泊ま  
り。食べ物自分で調達しなければ  
ならず、激しい風雨のなかを買い出  
しに行く。「まあ明日までの我慢」と  
思っていたが、台風はなかなか通過  
してくれずまるまる2日間足止め。  
食料品店の品物も底をつき、菓子パ  
ンを少しずつ食べて過ごした。そん  
な悪夢がよみがえった朝だった。  
だが天気予報によれば、午前中に



↑土庄町の名物「迷路のまち」に迷い込む。なんて感じにしようかと思ったら、東京の下町育ちの栗栖さんには「どうってことない」路地裏らしい。それよりも少年の頃の町懐かしさがよみがえったとか。後方に見える三重の塔は第五十八番札所の西光寺の誓願の塔だ

## ジャパニーズロード

STAGE 109 香川県・小豆島 瀬戸内旅情、島風情味わいの旅

止むとのこと。温泉に浸ったりしな  
がら宿でのんびり過ごし、雨が上が  
ると同時にヴェルシスにまたがった。  
最近の天気予報は精度が高い。

実は、宿がある場所は「島」にな  
っている。土庄の町の中に世界一狭  
い海峡があるのだが、その海峡で小  
豆島の本島とは隔てられているのだ。  
しかし水路程度の海峡だし、橋で  
つながっているのだから感じは  
ない。地図を見て初めて知ったので  
ある。ならばこの島も1周してみよ  
うと県道254号線を走ってみた。

10kmほどのルートなのだが、やたら  
に海が近くて爽快だ。

「天気がよければなく」と女々しい  
思いがなくもないが、とりあえず路  
面も乾いていたし、寒くもない。海

上も霞んでなかったもので風景もま  
まず。すでにボクの気分は晴れやか  
だった。

周回して土庄の町に戻る。町には  
世界一狭い海峡の他にも、干潮時に  
沖合の島と道がつながるエンジェル  
ロードなる観光名所があつて、恋人  
の聖地といわれているらしい。妻帯  
者のボクが恋人を持つと不倫騒動の  
挙句、刃傷沙汰になる恐れがあるの  
で、恋人の聖地エンジェルロードは  
遠くから眺めるだけにとどめた。そ  
してもうひとつ、町中を走っていて  
「迷路のまち」の看板を目にしたので、  
気になって迷路のまちへ行ってみた。  
三重塔が建つ西光寺界隈が昔ながら  
の狭い路地が入り組む帯になつて  
いる。バイクでならなんとかが入り込

さて、旅の半分は雨に見舞われてしまったが、それでも、  
小豆島は我々を楽しませてくれた。壺井栄は「二十四  
の瞳」のなかで「農・山・漁・村の名が全部あてはまるような  
島」とこの小さな島を表現している。いまならば国内有数の  
醤油やオリーブオイルも製造しているので「工」の文字も付  
け加えるだろうか。いずれにしても、瀬戸内海の小さくて  
豊かな島は、何度来ても飽きることかひない島である